

猪名川の「アレチウリ」(外来植物)拡大防止のとりくみ状況

神津大橋から 下流 猪名川水管橋、猪名川藻川分派点を望む

位置図



除草前 (8月4日撮影)



近景



除草後 (9月8日撮影)



除草後 (10月6日撮影)



所々にアレチウリが
発芽している。



看板の表示内容

外来種〔アレチウリ〕対策の試験中です。

目的：アレチウリは、外来種のツル性植物で、旺盛な繁殖力と、この植物が他の植物を覆いつくし従来の植生を駆逐し、植物種の多様性に悪影響を与えることから、問題になっています。今回のとりくみは、アレチウリ群落の拡大防止を目的として試験的に実施し、従来の植物の回復状況を確認するものです。

対象区域：猪名川と蓮川との分派点付近の河原

外来種とは？
自然分布（在来種が生息・生育している状況）の地域又は生態系に、人間の活動に伴って持ち込まれる生物種のことです。

アレチウリとは？
アレチウリの原産地は北アメリカです。ウリ科のツル性の一年草で、キュウリと大変よく似ています。アレチウリに覆われると、他の植物は光合成が出来ずに枯れてしまい、その結果植物種の多様性に悪影響を与えます。

猪名川でアレチウリが急速に広がりつつあります。大切な猪名川の自然が壊される前にアレチウリの駆除を行わなければなりません。駆除には1本、1本手で抜き取るしかなく、協力して下さる住民の皆様と協働で取り組んでいきたいと考えています。詳しくは、下記の“お問い合わせ先”までご連絡下さい。

お問い合わせ先：近畿地方整備局 猪名川河川事務所 TEL 072-751-1111
園田出張所 TEL 06-6493-1281

アレチウリ対策箇所のモニタリング概要

・業務名：猪名川下流部アレチウリ追跡調査業務

・調査期間：平成15年10月～
(3年間程度を予定)

・調査概要

外来種である「アレチウリ」の駆除対策(除草)後の植生回復状況を把握する。

・調査の視点

1. アレチウリの回復状況の把握
2. その他植生の回復状況の把握
3. 除草作業の有効性の検証

また、刈取地内で数箇所選定して、試験的に抜根を実施、その効果を検証する。